

芽室町地域集会施設再整備計画

平成 2 9 年 1 1 月
芽室町

目次

- 1 はじめに
- 2 計画の位置付け
- 3 現状と課題
- 4 再整備の基本方針
- 5 整備目標
- 6 計画の検討手法
- 7 再整備計画
- 8 資料

1 はじめに

本町で、本格的な集会の場が町民に提供されたのは、昭和３７年に建設された町民児童会館が始まりとなります。昭和４１年に地域集会施設の第１号として緑町生活館が建設され、その後、市街地や農村部に次々に広がり、現在までに３３施設を整備してきました。

地域集会施設は、建設当初より地域住民の活動拠点の場として利用され、住民の福祉向上に大きな役割を果たしてきました。かつては、それぞれの施設の維持管理を町が行っていましたが、町民が主役となる地域活動の推進により、平成１９年度からは、各利用地域による維持管理体制へと変わり、より地域に根ざした施設となっています。

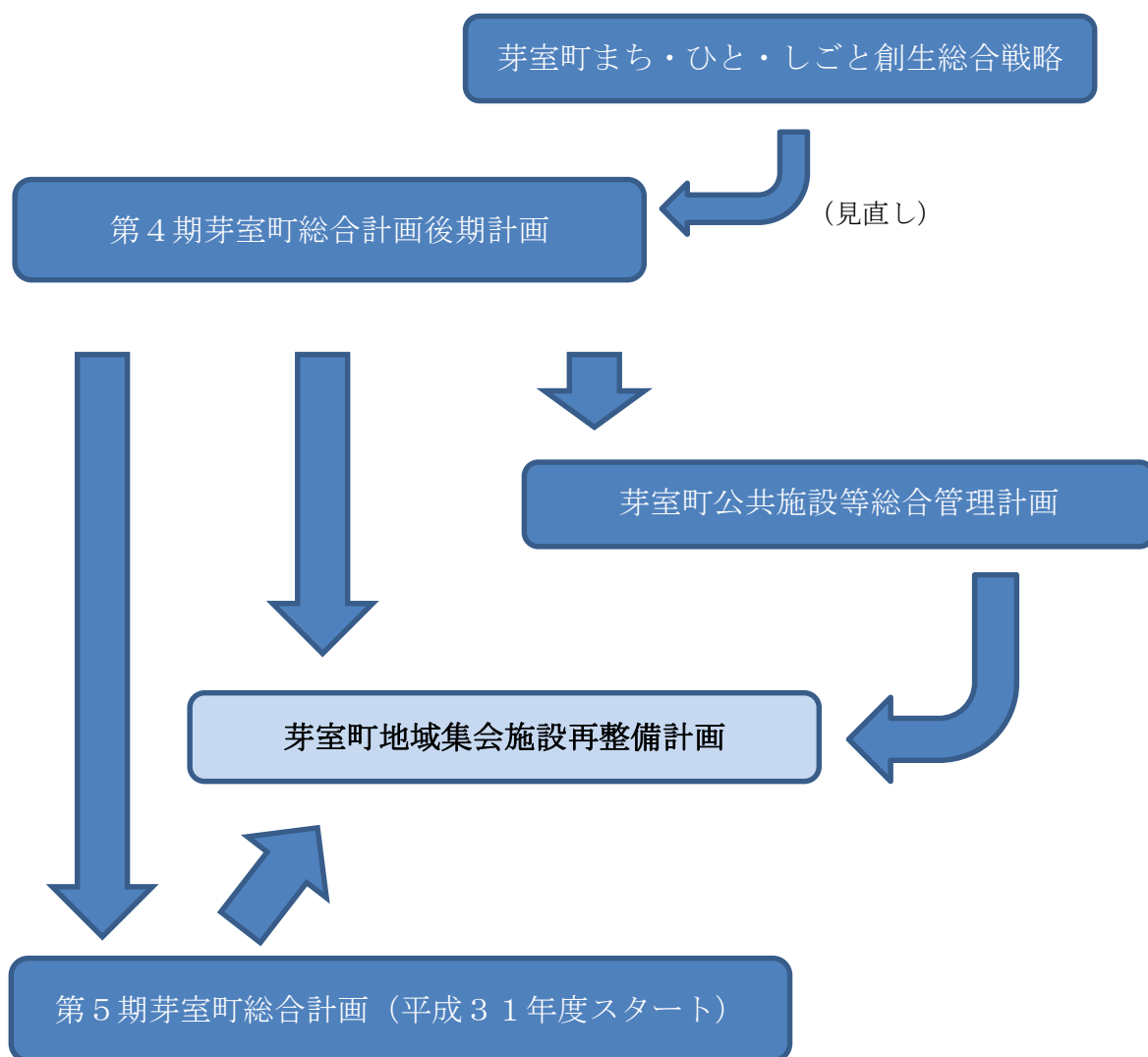
しかし、建設後相当年数経過した多くの施設では老朽化が進み、また、耐震強度不足の課題もあることから、これらの施設の安全・安心な管理対応が急務となっています。平成２５年３月に策定した「第４期芽室町総合計画後期実施計画」では、施設の老朽化、耐震強度不足により災害時の避難収容施設としての機能発揮に課題があることから、災害に強いまちづくりの視点と地域活動の利便性の向上を目指し、計画的に地域集会施設の整備を進めることとしています。

住民の生活形態の変化、交通網の発達、人口の減少、少子・高齢化等の社会的背景を見据え、また近年想定を超えて発生する災害の一時避難場所としての拠点として、今後地域に必要とされる新たな機能を考慮した施設の在り方が必要となります。

「芽室町地域集会施設再整備計画」は、様々な社会情勢や地域住民のニーズを踏まえ、今後の中・長期的視点に立った本町の地域集会施設の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として策定するものです。

2 計画の位置付け

本計画は、「芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定後に見直しを行った「第4期芽室町総合計画後期計画（平成25年度～平成30年度）」を大きな柱とし、「芽室町公共施設等総合管理計画（平成27年度～平成46年度）」を上位計画に位置付けます。また、平成28年3月に策定した「芽室町地域集会施設再整備の基本方針」を具体的に進行管理する計画として位置づけ、平成31年度からスタートする「第5期芽室町総合計画」の期間中において、対象とする地域集会施設の再整備を総合的かつ計画的に進めます。



3 現状と課題

(1) 老朽化の現状と課題

地域集会施設 32 施設のうち、「減価償却資産の耐用年数表」による耐用年数を超過する施設は、28 施設 (87.5%) となっています (別添資料 1 参照)。

あくまでも耐用年数とは、税務上で定められた減価償却用の数字に過ぎないため、建物の寿命そのものを意味するものではありません。耐用年数表では木造の耐用年数は 22 年と非常に短いですが、適切な維持管理によっては 40 年～50 年は十分使用できるものとされています。したがって、耐用年数のみで、その老朽化の正確な判断をすることは難しいことから、町建設都市整備課建築係による目視調査及び利用者からの意見を参考にその老朽化についての調査を行いました。

目視調査の結果、耐用年数を超過した全施設において、外壁、屋根、内装、建具等の改修を早急に行う必要があるとされました。また、利用者からは、断熱効果が弱く夏は暑く冬は寒い、冬場の水回りの凍結、隙間風の侵入、建具の不具合といった施設の老朽化に起因した問題が多く意見として出されており、利用者が安心して使用できる施設の改修が求められています。

(2) 耐震性の現状と課題

昭和 56 年度以前の旧耐震基準で建築された施設は 22 施設で、内訳は木造 20 施設、ブロック造 1 施設、鉄筋コンクリート造 1 施設となっています。

これらの施設の耐震性を確認するため、木造 20 施設について建設都市整備課建築係で、財団法人日本建築防災協会の簡易診断ソフトを用いた「一般診断法」により、建物の老朽度調査 (目視) と設計図面 (仕上表・平面図) での診断を行った結果、いずれの建物も耐震性に欠けるという結果になりました (別添資料 2 参照)。

昭和 54 年度に建築した上美生農村環境改善センター (鉄筋コンクリート造) については、平成 25 年度の耐震診断の結果、耐震性があるという結果が出されています。

また、芽室太生活館は、平成 29 年度に耐震診断を行った結果、耐震強度は有しているものの、耐力壁の区画範囲において現行建築基準法上の既存不適格建築物であることが判明しています。

このように、全地域集会施設のうち 6 割を超える建物が、耐震強度に課題があり、今後、災害に強いまちづくりを重点目標にかかげる中で、現在の新耐震基準に適合した安心・安全な建物の維持管理・施設整備が緊急な課題となっています。

(3) 利用内容の現状と課題

現在の地域集会施設の利用目的は、主に地域行事や会合、老人クラブの活動、各種サークルによる体操、カラオケ、民謡、余暇活動など多様に利用されています。

利用する人数によって大部屋を使用したり、少人数での会合等では小さな会議室を使用する等、目的に応じた使われ方がされています。施設ごとにその利用頻度も様々であり、また市街地と農村部でも利用状況においては違いがあります。（別添資料3参照）

建設当時において、保育所や学童施設との併設が設置目的として建設された施設や、葬儀や法事等の目的で頻繁に使用されていた施設もあり、その間取りや規模において、現状の利用者ニーズとのミスマッチが生じています。特に、調理室やトイレ等の水回り環境が利用しづらいという利用者の声が多く聞かれます。

（４） 一時避難施設としての現状と課題

現在、地域集会施設のうち、24の施設を一時避難場所として指定していますが、そのうち14施設は旧耐震基準で建設されたものであり、災害時の収容施設としては、耐震強度不足に課題があります。平成28年6月に改訂した「芽室町地域防災計画」の中の「災害に強いまちづくり整備計画」では、避難体制の整備として、地域福祉館等（地域集会施設）の整備を掲げており、防災計画と整合性をもった施設整備が必要となっています。

4 再整備の基本方針

課題解決に向け、全体目標として次の3つの柱を定め、再整備の具体的な進行管理のため、市街地と農村地域に分けて基本方針を設定する。

① 全体目標

(1) 施設の安全性の確保

大規模改修や建替えの周期を長期化する施設の長寿命化を図りながら、安全で安心して利用できる施設の確保に努めていく。

(2) 施設配置の適正化

選択と集中の観点から、将来の人口及び財政状況を見据えた施設配置の適正化を図っていく。

(3) 施設の有効活用と効率的な管理

施設の有効活用を図り、利用実態に応じて効率的な管理運営に向けた環境整備を進める。

② 市街地の基本方針

(1) 施設の整備は次の5つの区域を単位とする。(別添資料4参照)

- ① 中央地区
- ② 東地区
- ③ 西地区
- ④ 南地区
- ⑤ 東めむろ地区

(2) 施設の機能は次の5つを基本とする。

- ① 地域活動（コミュニティ）の拠点
- ② 災害時の一時避難場所（駐車場含む）
- ③ 子育て世代が集う場所
- ④ 高齢者の集う場所
- ⑤ 高齢者の健康増進の場所

(3) 施設の整備用地は町有地とする。

(4) 施設までの距離はおおむね500m以内とする。

(5) 施設の整備手法は、改修、改築、新築の順とする。

(6) (1)～(5)のほか、既存施設の稼働率、既存公共施設における地域活動の利活用実態、選挙投票所の機能などを加味し、再整備箇所及び施設機能を決定する。

③ 農村地域の基本方針

(1) 施設までの距離はおおむね2～4km以内とする。

(2) 施設の機能は次の5つを基本とする。

- ① 地域活動（コミュニティ）の拠点
 - ② 災害時の一時避難場所（駐車場含む）
 - ③ 子育て世代が集う場所
 - ④ 高齢者の集う場所
 - ⑤ 高齢者の健康増進の場所
- （３） 施設の整備用地は町有地とする。
- （４） 施設の整備手法は、改修、改築、新築の順とする。
- （５） （１）～（４）のほか、既存施設の稼働率、選挙投票所の機能及び農村地域
保育所再整備計画と整合を図り整備を決定する。

5 整備目標

再整備期間は、平成30年度からの9年間とし、第5期総合計画の期間内を目標とする。再整備時期を施設ごとに、前期（平成30年度～平成32年度）・中期（平成33年度～平成35年度）・後期（平成36年度～平成38年度）に分けて整理し、建築年度（老朽度）順に、地域協議の整った施設から整備を行うことを基本とする。

6 計画の検討手法

- ① 地域集会施設32施設のうち、耐震性がないとされる21施設を優先的に整備する。
- ② 耐震性がないとされる施設のうち、市街地にあつては半径500m以内の他の地域集会施設との統廃合及び既存公共施設との複合機能施設を基本に整備する。
- ③ 農村地域の施設整備にあたっては、地域集会施設単体での存廃、近隣施設の統廃合、他の複数の公共施設と複合的な整備を基本に、地域合意が整ったところから整備に着手する。
- ④ 耐震性がある施設については、耐震性のない施設の再整備が終了したのち、長寿命化を基本に整備方針を検討する。

7 再整備計画

具体的な再整備対象施設については、毎年度実施する「総合計画実行計画」において見直しを行い決定することとする。

◆前期（H30年度～H32年度）

① H30年度

新生地域福祉館	旧保育所への機能移転（改修）
栄農業研修センター	改修または建替（H29に実施設計）
芽室太生活館	耐震調査結果を受けての改修工事（H29に耐震調査実施）

② H31年度

4箇所目	改修または建替（H30に実施設計）
5箇所目	改修または建替（H30に実施設計）
6箇所目	改修または建替（H30に実施設計）

③ H32年度

7箇所目	改修または建替（H31に実施設計）
8箇所目	改修または建替（H31に実施設計）
9箇所目	改修または建替（H31に実施設計）

◆中期（H33年度～H35年度）

◆後期（H36年度～H38年度）

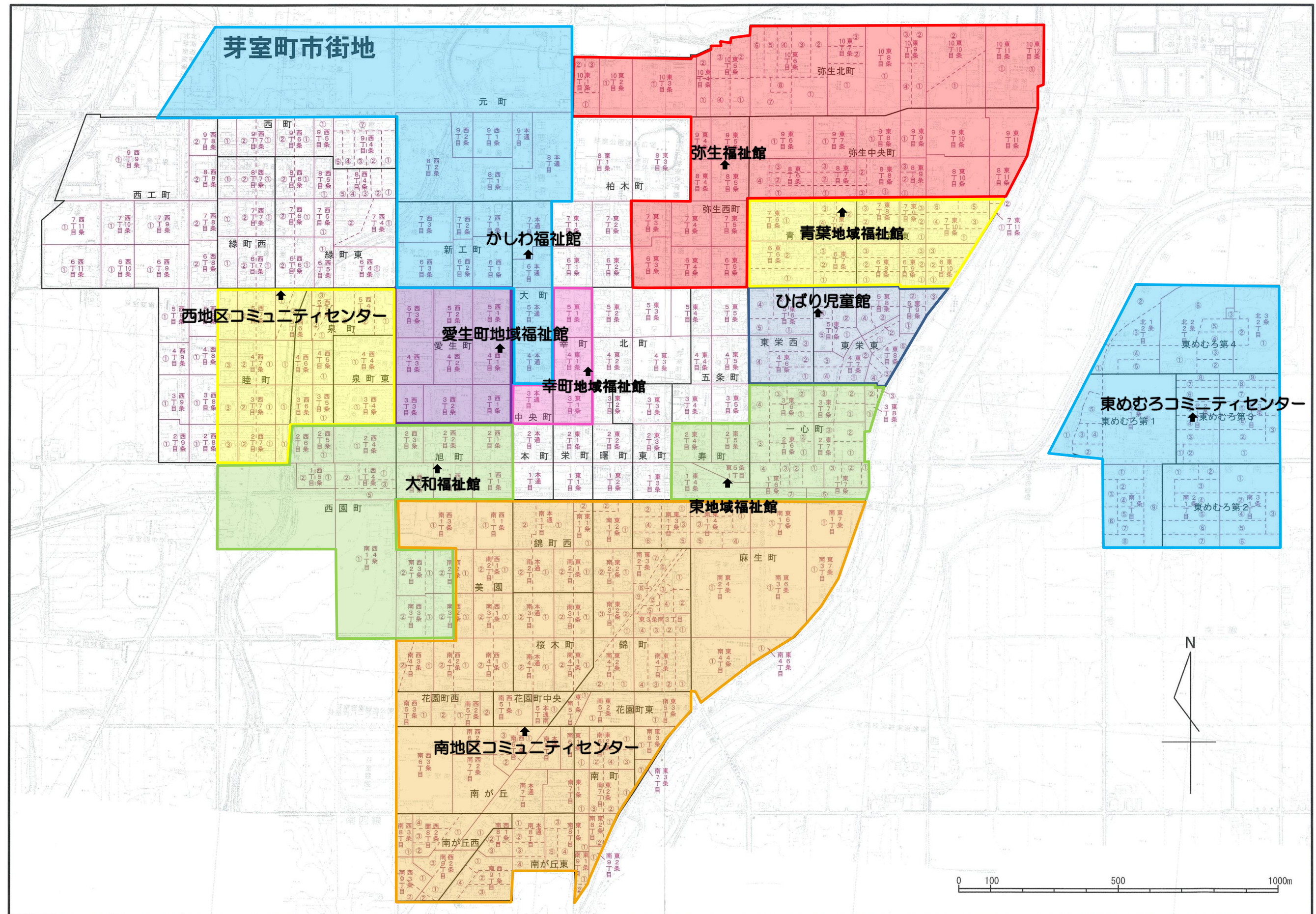
【 資 料 1 】

H30.4.1 現在

地域集会施設一覧（耐震・建設年・避難施設・投票所状況）

	施 設 名	構造	耐 震	建設 年度	経過 年 数	耐用 年数 超過	避難 施設	投票所
1	北伏古地域福祉館	木造	×	45	48	26	—	○
2	栄農業研修センター	木造	×	46	47	25	—	○
3	北明地域福祉館	木造	×	47	46	24	○	
4	芽室太生活館	ブロック	△	47	46	5	—	
5	雄馬別地域福祉館	木造	×	48	45	23	○	
6	毛根地域福祉館	木造	×	48	45	23	—	○
7	ひばり福祉館	木造	×	49	44	22	○	
8	新生地域福祉館	木造	×	50	43	21	—	
9	大和福祉館	木造	×	51	42	20	○	○
10	上伏古生活改善センター	木造	×	51	42	20	○	○
11	坂の上地域福祉館	木造	×	51	42	20	—	○
12	弥生福祉館	木造	×	52	41	19	○	○
13	かしわ福祉館	木造	×	53	40	18	○	○
14	西芽室地域福祉館	木造	×	53	40	18	○	
15	美生農業研修センター	木造	×	53	40	18	—	○
16	愛生町地域福祉館	木造	×	54	39	17	○	
17	幸町地域福祉館	木造	×	54	39	17	○	
18	東芽室地域福祉館	木造	×	54	39	17	○	
19	上美生農村環境改善センター	R C	○	54	39	-11	○	○
20	東地域福祉館	木造	×	55	38	16	○	
21	上芽室農業研修センター	木造	×	55	38	16	○	○
22	中伏古老人憩いの家	木造	×	56	37	15	—	○
23	渋山地区林業研修センター	木造	○	57	36	14	○	○
24	平和地域福祉館	木造	○	62	31	9	○	
25	高岩地域福祉館	木造	○	63	30	8	○	
26	東工産業振興センター	木造	○	63	30	8	○	
27	青葉町地域福祉館	木造	○	H5	25	3	○	
28	祥栄ふれ愛館	木造	○	H7	23	1	○	○
29	西士狩地域福祉館	木造	○	H7	23	1	○	○
30	南地区コミュニティセンター	鉄骨	○	H14	16	-34	○	
31	東めむろコミュニティセンター	木造	○	H21	9	-13	○	○
32	西地区コミュニティーセンター	木造	○	H28	1	-21	○	

市街地地域集会施設位置図

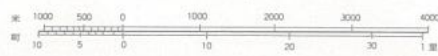


農村地域集会施設位置図

芽室町管内図



1 : 100,000



地域集会施設耐震診断結果一覧（平成25年度実施調査）

	施設名	施設住所	建設年度	増築	構造	規模（㎡）	避難施設	耐震診断 ※ 1		
								必要施設	診断結果	上部構造評点
1	大和福祉館	西2条1丁目4番地	51		木造	330.48	○	○	D	0.23
2	弥生福祉館	東5条8丁目1番地	52		木造	364.50	○	○	D	0.28
3	愛生町地域福祉館	西1条4丁目9番地1	54		木造	100.44	○	○	D	0.36
4	幸町地域福祉館	東1条4丁目10番地1	54		木造	100.44	○	○	D	0.30
5	東地域福祉館	東4条1丁目1番地20	55		木造	100.44	○	○	D	0.29
6	西地区コミュニティセンター	西6条5丁目1番地	56	8	木造	371.79	○	○	D	0.26
7	ひばり福祉館	東7条5丁目2番地	48	54	木造	430.38	○	○	D	0.30
8	かしわ福祉館	本通7丁目2番地	53		木造	459.54	○	○	D	0.50
9	北伏古地域福祉館	北伏古南9線9番地	45	53	木造	275.40	—	○	D	0.29
10	北明地域福祉館	北明西7線18番地	47		木造	160.39	○	○	D	0.39
11	雄馬別地域福祉館	雄馬別13線25番地	48		木造	116.00	○	○	D	0.31
12	毛根地域福祉館	毛根北5線9番地	48	54	木造	152.45	—	○	D	0.33
13	新生地域福祉館	新生南6線25番地	50	53・6	木造	178.20	—	○	D	0.35
14	上伏古地区生活改善センター	上伏古10線20番地	51	55	木造	277.32	○	○	D	0.43
15	西芽室地域福祉館	芽室基線52番地4	53		木造	100.44	○	○	D	0.29
16	東芽室地域福祉館	東芽室南3線25番地4	54		木造	116.64	○	○	D	0.29
17	中伏古老人憩いの家	中伏古6線17番地12	56		木造	169.29	—	○	D	0.49
18	坂の土地域福祉館	坂の上10線31番地	51	61	木造	225.18	—	○	D	0.32
19	芽室太生活館	北芽室北4線38番地	47		ブロック	216.85	—	○		0.50
20	美生農業研修センター	美生3線39番地21	53		木造	226.83	—	○	D	0.51
21	栄農業研修センター	栄3線24番地	46		木造	294.84	—	○	D	0.48
22	上芽室農業研修センター	上芽室南3線16番地1	55		木造	178.20	○	○	D	0.48

以下耐震基準を満たす施設

1	青葉町地域福祉館	東7条7丁目2番地2	5		木造	152.28	○	—	—	
2	南地区コミュニティセンター	芽室町西2条南6丁目1番地	14		鉄骨	810.75	○	—	—	
3	東めむろコミュニティセンター	芽室町西2条南6丁目2番地	21		木造	403.28	○	—	—	
4	平和地域福祉館	芽室町西2条南6丁目3番地	62		木造	115.02	○	—	—	
5	高岩地域福祉館	芽室町西2条南6丁目4番地	63		木造	122.04	○	—	—	
6	祥栄ふれ愛館	芽室町西2条南6丁目5番地	7		木造	302.94	○	—	—	
7	西土狩地域福祉館	芽室町西2条南6丁目6番地	7		木造	321.57	○	—	—	
8	渋山地区林業研修センター	芽室町西2条南6丁目7番地	57		木造	178.20	○	—	—	
9	東工産業振興センター	芽室町西2条南6丁目8番地	63		木造	330.48	○	—	—	
10	上美生農村環境改善センター	上美生4線34番地12他	54		R C	1503.00	○	○	平成25年度実施	

○耐震診断について

診断は（財）日本建築防災協会の簡易診断ソフトを用いた「一般診断法」によるものです。また、建物の老朽度調査（目視）と設計図面（仕上表・平面図）での診断であり詳細な現地調査は実施しておりません。

○診断結果について

- ※ 1 耐震診断
- 「A」安全 上部構造評点が1.5以上→倒壊しない
- 「B」概ね安全 上部構造評点が1.0以上1.5未満→一応倒壊しない
- 「C」やや危険 上部構造評点が0.7以上1.0未満→倒壊する危険性がある
- 「D」危険 上部構造評点が0.7未満→倒壊する可能性が高い

※ コンクリートブロック造の芽室太生活館については、一般診断法による簡易診断ができない。

地域集会施設利用状況一覧(H24年度～H28年度実績)

※ は、利用回数が年間48回以下(月4回)を下回る施設

	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		5か年平均	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	平均回数	平均人数
大和福祉館	270回	5,454人	330回	4,533人	313回	4,132人	242回	3,411人	178回	3,387人	267回	4,183人
弥生福祉館	194回	4,591人	208回	3,147人	233回	3,354人	200回	3,150人	204回	3,630人	208回	3,574人
愛生町地域福祉館	66回	752人	66回	712人	77回	747人	61回	726人	65回	804人	67回	748人
幸町地域福祉館	56回	539人	36回	488人	25回	295人	20回	344人	23回	394人	32回	412人
東地域福祉館	73回	853人	77回	914人	65回	823人	66回	839人	72回	888人	71回	863人
西地区コミュニティセンター	321回	3,935人	329回	3,902人	363回	3,835人	439回	5,062人	504回	5,742人	391回	4,495人
青葉町地域福祉館	217回	2,360人	210回	2,661人	179回	2,473人	182回	2,312人	193回	2,197人	196回	2,401人
南地区コミュニティセンター	878回	13,718人	852回	10,343人	746回	9,724人	803回	8,795人	891回	9,190人	834回	10,354人
ひばり児童館	19回	337人	17回	394人	19回	442人	16回	412人	38回	1,158人	22回	549人
かしわ福祉館	50回	1,635人	73回	1,588人	83回	1,194人	77回	971人	75回	954人	72回	1,268人
緑町生活館	203回	3,302人	201回	3,311人	178回	2,696人	80回	1,258人				
東めむろコミュニティセンター	354回	6,687人	349回	3,782人	148回	2,691人	174回	2,701人	153回	2,478人	236回	3,668人
北伏古地域福祉館	88回	1,399人	87回	1,283人	108回	1,962人	135回	2,114人	106回	1,464人	105回	1,644人
雄馬別地域福祉館	22回	308人	15回	205人	18回	192人	20回	260人	27回	383人	20回	270人
毛根地域福祉館	63回	904人	49回	659人	40回	576人	55回	732人	59回	765人	53回	727人
新生地域福祉館	68回	1,049人	68回	994人	65回	976人	68回	975人	74回	844人	69回	968人
上伏古生活改善センター	244回	3,658人	251回	11,159人	245回	3,599人	247回	3,660人	237回	3,316人	245回	5,078人
西芽室地域福祉館	17回	236人	18回	291人	16回	226人	19回	321人	12回	182人	16回	251人
東芽室地域福祉館	18回	194人	30回	336人	30回	259人	27回	267人	49回	452人	31回	302人
中伏古老人憩いの家	103回	1,684人	104回	1,388人	148回	2,145人	133回	1,556人	122回	1,584人	122回	1,671人
平和地域福祉館	39回	553人	43回	498人	33回	353人	47回	522人	65回	445人	45回	474人
高岩地域福祉館	196回	1,862人	99回	1,330人	92回	1,113人	99回	1,268人	94回	1,071人	116回	1,329人
坂の上地域福祉館	221回	2,596人	193回	2,249人	240回	3,091人	201回	2,619人	200回	2,753人	211回	2,662人
北明地域福祉館	25回	303人	22回	221人	37回	332人	29回	254人	24回	219人	27回	266人
芽室太生活館	77回	449人	86回	485人	90回	633人	84回	494人	88回	557人	85回	524人
祥栄ふれ愛館	130回	2,183人	150回	2,192人	171回	2,366人	147回	2,182人	119回	1,471人	143回	2,079人
西士狩地域福祉館	102回	1,649人	96回	1,356人	93回	1,291人	75回	1,171人	69回	1,111人	87回	1,316人
美生農業研修センター	118回	1,686人	117回	1,398人	116回	1,533人	97回	1,025人	97回	1,154人	109回	1,359人
栄農業研修センター	96回	1,425人	73回	1,073人	79回	1,041人	64回	726人	65回	851人	75回	1,023人
上芽室農業研修センター	50回	859人	78回	1,070人	46回	725人	41回	595人	35回	512人	50回	752人
渋山林業研修センター	107回	1,533人	92回	1,249人	60回	718人	73回	1,043人	75回	863人	81回	1,081人
上美生農村環境改善センター	453回	8,106人	655回	11,574人	565回	8,809人	380回	6,473人	96回	1,939人	430回	7,380人
合計	76,799人		76,785人		64,346人		58,238人		52,758人		63,672人	

市街地基本方針(5区域単位案)

